

国際シンポジウム ～ 世界から関西の結核を考える ～

関西地域は結核罹患率が全国一高いだけでなく、結核罹患率の高いアジア諸国と交流が活発であり、今後の関西地域の結核対策は世界的な視点に立って進めていくことが必要となっていくものと思われます。そこで、海外から結核対策の実務経験豊富なシンポジストをお招きし、世界の視点から関西地域の結核対策のあり方を考えてみる機会としたいと思っています。世界の結核対策の潮流はいまやDOTS戦略とあわせて、政治、行政、医療機関、民間団体、研究機関に属する人々と市民が協働したパートナーシップ戦略に移されてきています。結核対策のパートナーシップ戦略は、結核のみならず公衆衛生領域の健康問題解決方策としての戦略としての大きな可能性を秘めています。この保健戦略について考えてみる機会としたいと考えています。

プログラム

9:00-9:15 開会のあいさつ 高鳥毛敏雄(関西大学・社会安全学部・教授)

第1部 世界の結核

- 9:15-10:05 講演1: WHOの健康政策とストップ結核パートナーシップ戦略
Dr. Jacob Kumaresan (WHO健康開発センター所長、WKC)
- 10:05-10:55 講演2: WHOストップ結核パートナーシップの現状と課題
Ms. Carol Nawina Nyirenda (WHOストップ結核パートナーシップ会議委員)
- 11:00-11:50 講演3: フィリピンへの貧困層に対する結核制圧の取り組みと成果
Dr. Roderick Poblete (結核予防会フィリピン事務所副所長)
- 12:00-13:30 昼食 (1階のレストランが利用できます)
- 13:30-14:20 講演4: 米国の都市における結核対策の現状とそのプログラム
Dr. Paula Fujiwara (国際結核肺疾患連合)

第2部 関西の結核

- 14:30-14:50 報告1: 和歌山県の結核罹患率と結核医療の現状と今後の課題
駿田 直俊(国立病院機構和歌山病院副院長)
- 14:50-15:10 報告2: 兵庫県の結核罹患率と結核対策の現状と今後の課題
田所 昌也(兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課長)
- 15:10-15:30 報告3: 大阪市の結核罹患率と結核対策の現状と今後の課題
松本 健二(大阪市保健所感染症対策監)
- 15:30-15:50 (休憩)
- 15:50-16:10 報告4: あいりん地域の結核対策の現状と課題
井戸 武實(NPOヘルスサポート大阪・事務局長)
- 16:10-16:30 報告5: 地域の結核対策と結核菌のサーベイランスの現状と課題
田丸 亜貴(大阪府立公衆衛生研究所感染症部細菌課主任研究員)
- 16:30-16:50 報告6: 甲賀保健所管内における外国人の結核の対策
大井 恭子(滋賀県甲賀健康福祉事務所健康衛生課主任保健師)
- 16:50-17:00 コメント: 関西地域における結核対策への期待
高山 佳洋(大阪府保健医療部医療監)
- 17:00-17:30 総合討論・閉会のあいさつ 下内 昭(財団法人結核予防会結核研究所副所長)

とき 平成23年1月15日(土) 9:00～17:30(開場8:30)

お問い合わせ 参加費無料

ところ 関西大学 高槻ミューズキャンパス
ミューズホール

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7-1
JR高槻駅、阪急高槻市駅よりいずれも徒歩10分



ストップ結核パートナーシップ日本
TEL:03-5282-3010

関西大学社会安全学部
TEL:072-684-4179 代072-684-4000
e-mail: t_toshio@kansai-u.ac.jp

主催: ストップ結核パートナーシップ日本 ・ 関西大学社会安全学部

協賛: 日本リザルツ 後援: 外務省・厚生労働省・大阪府・大阪市・財団法人大阪公衆衛生協会・財団法人結核予防会大阪府支部・S T B関西